



こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです

9月議会

学童保育所の
充実を

小学校4年生までの受け入れ 拡大、待機児童解消を求めて

9月議会の一般質問は、「学童保育所の充実」「小中学校のいじめ問題」の2件について行いました。

【学童保育所の充実について】

学童保育所の小学校4年生までの拡大について、今回市長から「何とか来年度の事業計画の中で、全校はおそらく無理だと思うが、できることから取り組ませて頂く」との答弁があり、来年度は全校でなくても「実現できるのでは」との期待を持ちました。これをきっかけに早く全校で4年生までの拡大ができるよう頑張っていきたいと思えます。

お盆休暇中についても指導員の勤務体制や確保の難しさを理由に「むずかしい」と言っています。他市町の例を上げ、学生アルバイトの雇用の検討等を提案しましたが、相変わらず「調査検討して参りたい」との答弁でした。

黒浜小学校の待機児童解消については、現在教室を利用しています。学校敷地内に新たに学童保育所を建設して、受け入れ人数の拡大を図るようこの間主張してきました。

昨年3月議会の私の質問に対し、市長は「平成23年度の後半かあるいは平成24年度にまたがるか、その辺で早い時期に取り組みせて頂きます」との答弁でしたが、今議会では部長から「一時的に教室を利用していく方法を考えていく」との答弁がありました。しかし学校でも国語や算数の授業は少人数で2教室に分けて行っていることから、教室が足りないとの声もあり、また将来を見据えた場合、一時的余裕教室の利用ではなく新たに新設する事が必要です。

【いじめを起さない対策を】

いじめによる自殺が増えており、こうした事態をなくすためには、いじめの早期発見や相談体制など集団で取り組むこと、そして何よりもいじめを起さない学級集団作りが必要だと思えます。今回いじめが起きた時の対応、起さないための対応について質すとともに、「教育の場への警察の介入はやめるべき」と主張しました。

(小山 ゆりえ)

蓮田市の防災対策は？

地震が起こった時、蓮田市の学校や公共施設は大丈夫なのだろうか？防災対策はきちんとしているのだろうか等々、心配している市民もたくさんいらっしゃると思います。今回は蓮田市の防災対策についてその一端をお知らせします。

防災対策の基本として地域防災計画が作られており、それがいざという時の指針となります。

耐震対策として学校の校舎の耐震化工事は全て完了し、現在体育館の耐震化工事が進められています。

さらに9月補正予算で中央公民館・商工会館・コミュニティセンター・老人福祉センター・保健センター・環境学習館・黒浜保育園・蓮田南中学校体育館・荒川橋の2次診断・設計費が付けられ、公共施設の耐震化は平成27年度までに終わらせる計画です。

さらには防災行政無線のデジタル化、98自治会のうち32自治会で28の自主防災会を組織しており、市としても防災訓練や資機材の整備などに補助を出しています。災害が起きた時に、被害を最小限に食い止めるためにも、日ごろからの備えが必要ではないでしょうか。

中身は古くて危険な

「保守政党」

民主・自民・みんなの党から9人の国会議員をひきぬいて新党「日本維新の会」(代表・橋下徹大阪市長)が発足しました。当初二大政党への不満から支持を集めました。今その期待は急落しつつあります。

集まった国会議員の顔触れは極端なタカ派や新自由主義者。橋下氏は竹中平蔵氏を重用して「小泉・竹中路線を更に進める」とし、「維新八策」では弱肉強食経済を主張しています。その主なものは●「解雇規制の緩和」という首切りの自由化●社会保障では、支援するのは「真の弱者」だけと弱者切り捨て●医療は、「重症患者」だけと公的医療保険範囲の見直し●TPP参加を表明し「兼業農家には退場してもらわないといけない人も」と発言。さらに、●改憲を視野に、憲法改正発議要件を緩める●外交は日米同盟を基軸に●オスブレイ容認●脱原発といいな

ら大飯原発再稼働容認など。どの政策をみても国民の期待に応える新しいものではなく、アメリカと財界の利益のために国民に負担を押しつける古い政治そのもの。民主が第2自民なら、維新はより危険な第3自民党ともいえるべき中身です。

大日本帝国憲法」の復活を求める都議会請願に賛成するといふ時代錯誤の動きに批判が続出しました。東京だけでなく各地で、自民党などからくらがえした議員が地方組織を作つて「日本維新の会」に合流しています。が、際立ったタカ派的主張が気になります。「維新」の実像が明らかになるにつれ、国民軽視と右傾化に国民の批判が高まるのは必至でしょう。

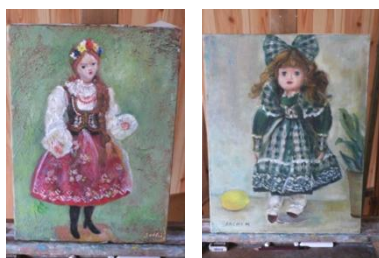


わたしのホットにゆうす

油絵が私の趣味です



自宅の居間でキャンバスに向かう村山さん



上は製作中の静物。下は以前に描かれた人形の絵。

黒浜・御林にお住まいの村山幸さん(85歳)は退職された後、15年以上前から油絵を始められました。絵画グループに所属され、月2回例会があり、以前は写生にも出かけられたそうです。また年に1回、市役所ホールでの展示会にも参加されているとのこと。

訪問した時は静物を描いており、「今は1時間程しか集中して描けません。でも期限があるわけではないので、のんびりやっています」と笑っていました。現在は一人暮らしで、「ご近所やみなさんのおかげで暮らしていますと伝えて下さい」とおっしゃっていました。

日本共産党が取り組んでいる「消費税増税の実施中止を求める署名」にご協力願います。

江ヶ崎地区のコスモスまつりが10月6日、7日に開催されました。



今年もきれいに咲いていました